

□議員名：岡山 明

1 消火水利の設置状況について

論点	市内にある100m <sup>3</sup> 以上の防火水槽11基のうち、1基だけ耐震性がないが、補強の早期対応はどうか。
回答	この防火水槽は、地震により即座に崩れる可能性は低いと思われる。当面は現状のまま使用するが、地震時における対応のため、この防火水槽周辺地域に耐震性配水管に接続する消火栓を今年度整備し、対応するように考えている。

2 期日前投票、若者の投票率向上について

論点	投票所入場券と期日前投票宣誓書を一枚のはがきとして、現状の世帯ごとの郵送ではなく、選挙人一人一人の郵送に出来ないか。
回答	期日前投票宣誓書については、選挙人が事前に記載することができるよう投票所入場券の裏面に様式を印刷するなど創意工夫し、選挙人の便宜に資するように努めることと、総務省より通知があることは承知しているが、現時点で変更は考えていない。

論点	期日前投票所として、大型ショッピングセンターでの新規開設の可能性はあるか。
回答	選挙人の利便性を高め、投票がしやすいものとなる可能性は否定できないが、秘密の確保などの問題から、現時点においても基本的な考えの変更はない。ただし、期日前投票所の増設については、検討を考えている。

論点	本年夏から選挙権年齢を18歳以上となる改正公職選挙法を受けて、若者の投票率向上に向けての本市独自の取組はどうか。
回答	新成人に対して選挙権の行使や主権者としての自覚を促す啓発はがきを郵送しているが、今後18歳、19歳の新有権者にも実施したい。投票率の質の向上ということで、高い資質を持った主権者が育成できるような主権者教育にも力を入れていきたい。

### 3 受動喫煙防止対策について

論点	市の公共施設の受動喫煙防止対策は進んでいるか。新設された厚狭地区複合施設の防止対策の徹底はどうか。
回答	敷地内全面禁煙と屋内全面禁煙を行っている施設は、昨年度では113カ所、全体の88%に当たる。2年前の調査ではこの割合が82%であり、6%ほど受動喫煙防止が進んでいる。県のたばこ対策ガイドラインに沿って適切な防止対策に努めたい。

論点	中央図書館は施設内禁煙であるが、子供たちとその母親が多く利用している施設である。敷地内禁煙にする考えはどうか。
回答	中央図書館は、県のたばこ対策ガイドラインでは、原則施設内禁煙となっている。子供たちや妊婦の方、お年寄りを含めた色々な方が利用している。最大限その辺を配慮した場所に、10mルールに基づき灰皿を設置している。